

HiKOKI

取扱説明書

用途

- 公園、庭園の落葉掃除
- 芝刈り後の掃除
- グラウンド、スタジアム、競技場などの掃除

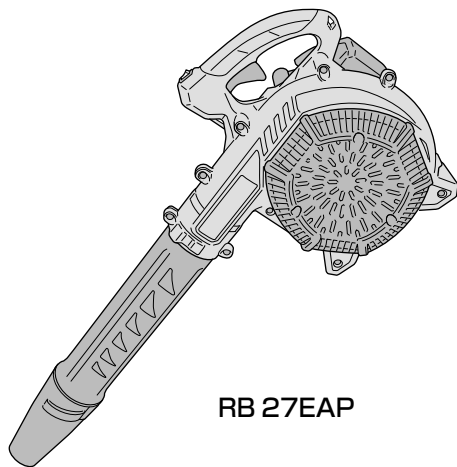


陸内協排出ガス自主規制
適合エンジン搭載

エンジンブロワ

RB 27EAP
RB 27EAP (S)
RB 27EP (S)

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



RB 27EAP

燃料混合比

無鉛ガソリン 2サイクル専用オイル※
25 ~ 50 : 1

※ JASO 規格 FC 級オイル

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに

警告表示について	1
シンボルマークについて	2
エンジン工具の安全上のご注意	3
本製品の使用上のご注意	8
各部の名称	9
仕様	10
標準付属品	11
別売部品	11

使い方

ご使用前の準備	12
作業場所の整備 / 燃料の準備	
ブロワとして使用する場合	
バキュームとして使用する場合	
【RB 27EPのみ】	
エンジンの始動 / 停止	17
始動方法 / 停止方法	
作業する	23
ブロワ機能を使う	
バキューム機能を使う	
【RB 27EPのみ】	

その他

保守・点検・整備	26
リコイルスターター / 気化器	
点火プラグ / エアクリナー	
燃料フィルター / マフラー	
保管方法	29
故障診断	29
ご修理のときは	裏表紙

警告表示について

当該製品に関する安全な使用方法、予見可能な危険の排除、ご使用時の危険回避などを目的に本機および取扱説明書に下記の表示をしております。
これらの表示以外に関しても十分安全に配慮してご使用ください。

危険、 警告、 注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 危険」、「 警告」、「 注意」、「 注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

 **危険** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を即時に負うことが想定される内容のご注意。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

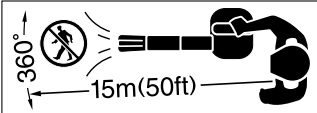
 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

 **注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

シンボルマークについて

シンボルマーク	意 味	シンボルマーク	意 味
	取扱説明書を良く読んで内容を十分理解し、誤った使用で不慮の事故を起こさないように注意してください。		取扱説明書または本機に表示の危険、警告、注意などに従って安全に使用してください。
	引火しやすい燃料を使用するため、本機に火気を絶対に近づけないでください。		保護帽（ヘルメット）、保護メガネ、耳栓、手袋、安全靴など保護具を着用してください。
	本機に火気を近づけないでください。		排気ガスは人体に有害ですので直接吸わないでください。
	本機の近くでたばこを吸わないでください。		マフラーやその周囲は、高温になりますので絶対に触れないでください。
	混合燃料を入れてください。		チョークレバーの運転（開）側
	プライミングポンプ （始動用の手動式燃料ポンプ）		チョークレバーの始動（閉）側
	エンジン停止		キャブレタのアイドル調整ねじ
	ストップスイッチの運転側		ストップスイッチの停止側

シンボルマーク	意 味
	ブロワの作業者から 15 m 以内を危険区域とし、この中に作業者以外の人が入らないこと。また、数台同時に作業するときもこの距離は守ってください。

エンジン工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠危険



火気厳禁

火気に注意してください。

- 燃料の補給はエンジンを停止後、機体が冷えてから補給してください。
- たばこを吸ったり、火気を近づけないでください。
- 燃料がこぼれたら、良くふき取ってください。
- 運転中は燃料タンクのキャップをはずさないでください。
- 燃料、可燃性ガス、その他の可燃物のある場所では使用しないでください。
- 乾燥地帯で使用する場合は、消火用具を準備してください。
爆発や火災、やけどの原因になります。



⚠警告

① 指定された用途以外に使用しないでください。

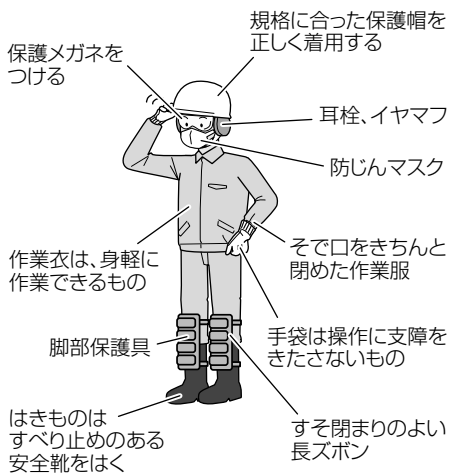
けがの原因になります。

② 保護具を着用し、きちんとした服装で作業してください。

保護具をつけないで作業すると、飛散物が身体に当たるなどけがの原因になります。

③ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているとき、身体の調子が悪いときは、使用しないでください。
- 視覚や敏しょう性、判断力に影響するような酒類、薬物を飲んでいる人は使用しないでください。



⚠ 警告

- ④ 作業はゆとりを持って行ってください。また、身体を冷やさないようにしてください。
- ⑤ 作業者以外、特に子供は近づけないでください。
 - ・エンジン工具に触れさせないでください。
 - ・作業場へ近づけないでください。
 - ・安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ⑥ 子供や取扱説明書を良く読んでいない人、または取扱いに不慣れな人にはエンジン工具を使用させたり、貸さないでください。

初めて使用する方は、販売店や熟練者に操作方法、注意事項を良く教わって十分習得し、取扱説明書を良く読んでから使用してください。
- ⑦ 本製品は、運転中に電磁波が発生します。この電磁波はペースメーカーなど電子医療機器の作動に影響することがあります。

ペースメーカーなど電子医療機器を装着している方は、本製品を使用する前に医療機器の製造元に使用の可否を相談してください。
- ⑧ 作業に入る前に作業手順を良く考え、事故が起きないようにしてください。
- ⑨ 夜間や天候不良などの視界が悪いときは使用しないでください。また、雨の中や雨上がりのぬれた場所では使用しないでください。

足もとが不安定で、バランスを失い、事故の原因になります。
- ⑩ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント、先端工具（刃具など）以外のものは、事故やけがの原因になるので、使用しないでください。
- ⑪ 始動前に先端工具（刃具など）を点検してください。
 - ・先端工具（刃具など）にひび割れ、傷、曲がりがある物は使用しないでください。
 - ・先端工具（刃具など）が確実に取付けられているか確認してください。先端工具（刃具など）が割れたり、はずれたりすると事故の原因になります。
- ⑫ 始動前に各部を点検してください。
 - ・機体やその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定の機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、グリース、燃料漏れ、電気配線のいたみ、その他、運転に影響するすべての箇所に異常がないか確認してください。

異常がある場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- ⑬ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

エンジンを始動する前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⚠ 警告

- ⑭ エンジンを開始する場合は注意してください。**
- 機体を平らな場所においてください。
 - 15 m 以内に人や動物を近づけないでください。
 - スロットルレバーがアイドル位置にあることを確認してください。
 - 周囲に草、紙くず、燃料などの可燃物のある場所で行わないでください。
 - 燃料を補給した場所から 3 m 以上は離れた場所で行ってください。
- 不用意な始動は、けがや火災の原因になります。
- ⑮ ストップスイッチを停止の位置にしたとき、エンジンが確実に止まることを確認してください。**
- ⑯ スターターハンドルを引いてから、遅れてエンジンが始動する場合があるので注意してください。**
- ⑰ 無理な姿勢で作業をしないでください。**
- 常に足もとをしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
 - 足もとの不安定な場所では使用しないでください。
- 転倒するなど、思わぬ事故の原因になります。
- ⑱ 電線、ガス管などが設置してある場所では安全に十分注意してください。**
- ⑲ 回転速度を必要以上に上げないでください。**
- 回転を上げる場合は急に上げずに、徐々に回転を上げてください。
 - 作業の負荷に応じてスロットルレバーを調整しながら使ってください。
- 飛散物が飛び散るなど、思わぬ事故の原因になります。
- ⑳ 次の場合はエンジンを停止し、先端工具（刃具など）の動きが止まるのを確認してください。**
- 使用しない、または修理する場合。
 - 作業場所を移動する場合。
 - 先端工具（刃具など）、アタッチメント、その他機体の点検、調整、交換などを行う場合。
 - 機体に巻き付いたごみや草を取り除く場合。
 - 作業場所の障害物を取り除いたり、作業で発生したごみ、草、切り粉などを運ぶ場合。
 - 機体を身体からはずす場合、機体からはなれる場合。
 - その他、危険を感じた場合、危険が予想される場合。
- エンジンや先端工具（刃具など）が動いたままでは、思わぬ事故が起こります。
- ㉑ 他の人を 15 m 以内に近づけないでください。**
- また、二人以上で作業する場合も、15 m 以上はなれてください。
- 飛散物が当たるなど、思わぬ事故の原因になります。
 - 他の作業者に危険がないことを確認してから作業してください。
 - 呼び笛を準備するなど、他の作業者との連絡方法をあらかじめ決めておいてください。

⚠ 警告

②② 排気ガスに注意してください。

- 屋内や換気の悪い場所で始動したり、作業しないでください。
- 建物、その他の設備に排気ガスが入らないように注意してください。
ガス中毒や窒息の原因になります。



②③ 作業中は点火プラグキャップ部、高圧コードに触れないでください。

電気ショックを受ける可能性があります。

②④ 作業中はもとより、エンジン停止後もしばらくはエンジン本体、マフラー、特に排気口などに触れないでください。

けがややけどの原因になります。

②⑤ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにエンジンを止めて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

そのまま使用すると、故障やけがの原因になります。

②⑥ 誤って機体を落としたり、ぶつけたりしたときは、破損や亀裂、変形がないことを良く点検してください。

破損や亀裂、変形があるとけがや火災の原因になります。

②⑦ 機体を車で運搬する場合は、燃料タンクから燃料を完全に抜き取ってください。また、機体が動かないように固定してください。

火災や事故の原因になります。

⚠️ 注意

- ① 本機は 2 サイクルエンジンですので、混合燃料 25 ～ 50 : 1
(無鉛ガソリン : 2 サイクル専用オイル※) を使用してください。

※ JASO 規格 FC 級オイル

ガソリンだけでエンジンをかけたり、混合比を間違えるとエンジンが故障する原因になります

- ② 使用後に機体を運搬したり、保管する場合は、先端工具 (刃具など) をはずすか、先端工具にカバーをかぶせてください。

先端工具 (刃具など) が身体に触れて、けがの原因になります。

- ③ 機体は注意深く手入れしてください。

- 安全に効率良く作業していただくために、先端工具 (刃具など) は常に手入れし、刃具類は良く切れる状態にしてください。
- 付属品やアタッチメントの交換、機体の手入れ、注油などは取扱説明書に従ってください。

- ④ 修理は専門店に依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

- ⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

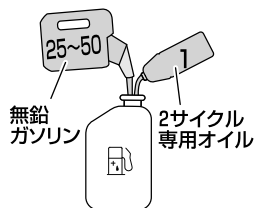
- ストップスイッチは停止の位置にして保管してください。
- 燃料を抜き取り、乾燥した場所で子供の手の届かない所または鍵のかかるところに保管してください。

- ⑥ 燃料はガソリン専用の容器に入れ、乾燥した場所で子供の手の届かない所または鍵のかかるところに保管してください。

- ⑦ 警告ラベルが見えなくなったり、はがれたり、不鮮明になった場合は新しい警告ラベルと取換えてください。

警告ラベルはお買い求めの販売店に依頼してください。

- ⑧ 作業に当たって、その地域の規則や取り決めがある場合はそれに従ってください。



本製品の使用上のご注意

先にエンジン工具として共通の注意事項を述べましたが、エンジンプロワとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① エンジンを始動するときは、周囲（15 m 以内）に十分注意し、エア噴出口は人や動物、自動車、ガラス窓などに向けないようにしてください。
誤操作などで、不意にエアが噴出したときけがの原因になります。
- ② 作業場所にガラス、ビンなどがいないか確認し、ある場合は取り除いてから作業してください。
エアで吹き飛ばされると、けがの原因になります。
- ③ エアの吹き出し口を人や動物に向けないでください。
また、飛散物の落下位置、方向を予測しながら作業してください。
ごみや飛散物が当たるなどけがの原因になります。
- ④ 噴管やガードネットを手や布、紙などでふさがないでください。
エアの噴出や吸入を妨げられると、回転が異常に速くなり故障やけがの原因になります。
- ⑤ 付属の噴管やダストバッグなしでエンジンを空ぶかししないでください。
エンジンの冷却風が減少し、故障やけがの原因になります。必ず噴管を取付けた状態で作業してください。

⚠ 注意

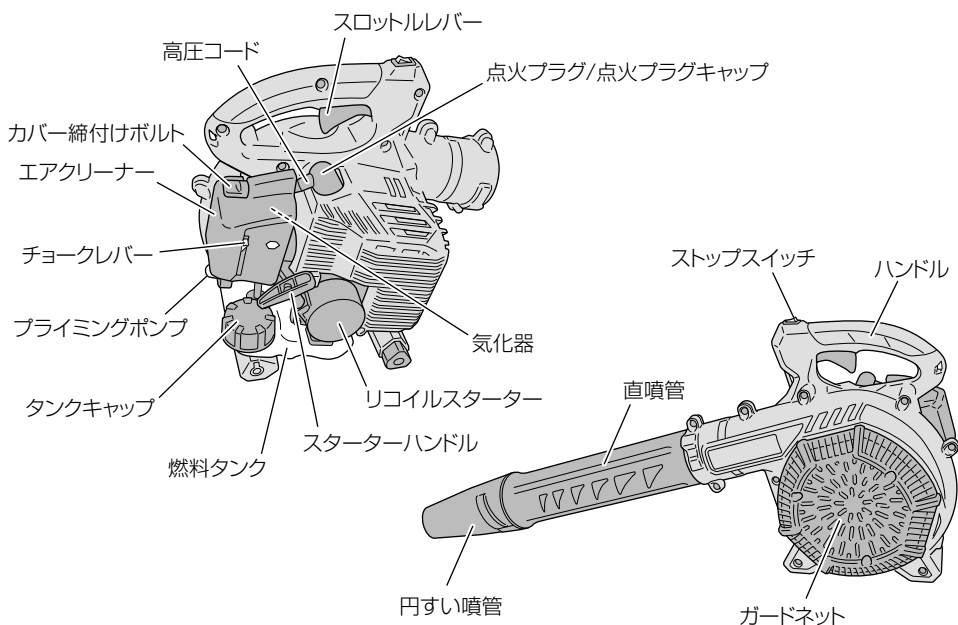
1 日の作業時間は 2 時間以内にしてください。疲労は事故の最大の原因です。長時間の連続使用を避け、30 分作業したら 5 分以上休憩してください。

○ 騒音防止規制について

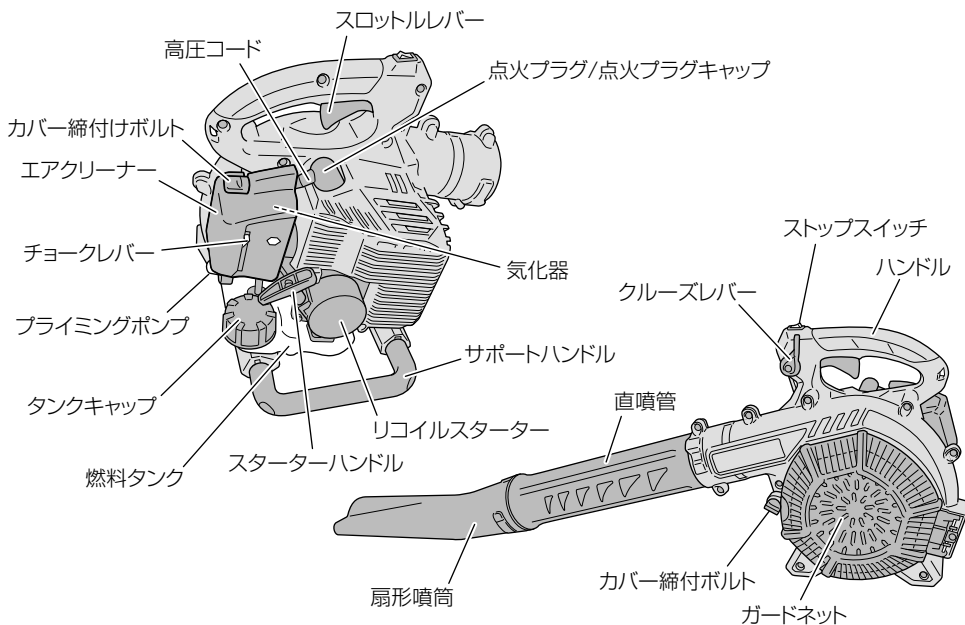
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

各部の名称

【RB 27EAP】



【RB 27EP】



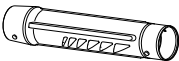
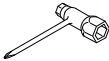
仕 様

形名(仕様)		RB 27EAP		RB 27EP
		—	(S)	(S)
エ ン ジ ン	型 式	強制空冷2サイクルガソリンエンジン		
	排 気 量	26.9 mL		
	気 化 器	ダイヤフラム型 (プライミングポンプ付)		
	点 火 プ ラ グ	CHAMPION RCJ6Y		
	かるがるスタート※	無し	有り	
	使 用 燃 料	混合燃料 無鉛ガソリン： 2 サイクル専用オイル = (25 ～ 50) : 1 【JASO 規格 FC 級オイル】		
	タ ン ク 容 量	400 mL		
	エアクリーナー	乾式		
バ キ ュ ー ム 機 能		無し	有り	
停 止 方 式		アース式		
寸法 (全長×全幅×全高)		355 × 244 × 335 mm		355 × 268 × 335 mm
質 量		4.1 kg	4.2 kg	4.4 kg

※ 軽い引き力でエンジン始動ができます。

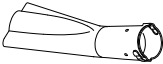
標準付属品

下記の部品が標準付属品として同梱されていますので確認してください。

品 名	形 名 (仕様)	RB 27EAP		RB 27EP
		—	(S)	(S)
直噴管		1 個	1 個	1 個
円すい噴管		1 個	1 個	—
扇形噴筒		—	—	1 個
バキューム管		—	—	1 個
曲り噴筒		—	—	1 個
ダストバッグ		—	—	1 個
静電気防止パッド		—	—	1 個
両口ボックススパナ		1 個	1 個	1 個

別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください)

詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

品 名	形 名 (仕様)	RB 27EAP		RB 27EP
		—	(S)	(S)
円すい噴管		○	○	別
扇形噴筒		別	別	○

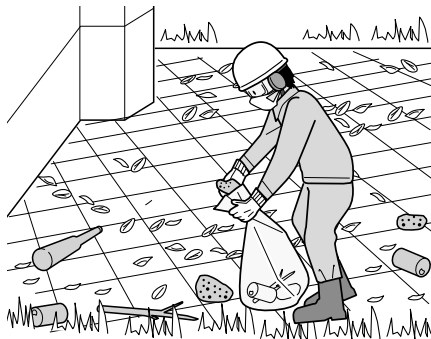
○：標準付属されています 別：別売部品

ご使用前の準備

●作業場所の整備

作業場所および周辺の環境をよく観察し、けがや事故、故障の原因になると予想できる物が作業場所にはないか確認し、ある場合には、あらかじめ取り除いてください。

特に、作業時足場となる部分については、不安定であったり、つまずいて転んだりする物がないように整備してください。空き缶や金属片などはブロワで送風されると、思い掛けない方向に飛ばされることがあり、けがや事故の原因になります。また、バキューム機能で吸い込むと、故障の原因になります。



●燃料の準備

⚠危険

- 燃料の補給はエンジンを停止後、機体が冷えてから補給してください。
- 燃料給油中はタバコを吸ったり、その他の火気を絶対に近づけないでください。
火災、やけどの原因になります。
- 給油中に燃料をこぼしたときは、良くふき取ってください。

⚠警告

- 給油前に、ブロワ本体、給油用の容器、作業者に帯電している静電気を除去するため、多少湿り気のある地面に接地してください。
- 給油は風通しの良い場所で行ってください。
- エンジンを停止してもマフラーなどが熱くなっていますので、かれ草などの燃えやすい所へ置かないようにしてください。

- 注**
- 燃料は、必要以上に混合しないで、作業に必要な量を準備してください。
1 か月以上経過すると揮発したり、腐敗してエンジンが故障する原因になります。
 - 燃料はガソリン専用の容器に入れて、火気のない場所で保管または運搬してください。
 - ガソリンだけで絶対に運転しないでください。
エンジンが故障する原因になります。
 - 混合ガソリンは、良く振って（混合して）から給油してください。
ガソリンと2サイクル専用オイルが分離していることがあります。

燃料を準備するときは

25 ～ 50：1（無鉛ガソリン：2 サイクル専用オイル※）の割合で混合の上、使用してください。

※ JASO 規格 FC 級オイル

混合量は表を参考にしてください。

別容器で良く混ぜてから燃料タンクに入れてください。

こぼれないように、燃料タンクの口元一杯まで入れないで 8 分目程度にしてください。

2 サイクル専用オイルの混合量

ガソリン (L)	2 サイクル専用オイル※ (mL)	
	50：1	25：1
0.5	10	20
1.0	20	40
2.0	40	80
4.0	80	160

※ JASO 規格 FC 級オイル

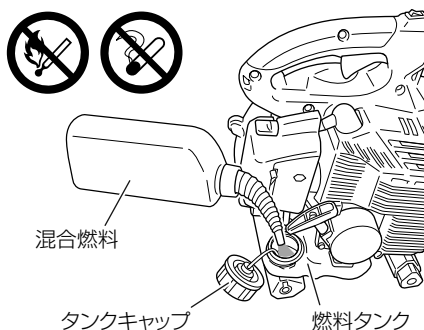


燃料を入れるときは

混合燃料を燃料タンクに入れてください。タンクキャップを開けるときは、ゆっくりと行ってください。急に開けると、内圧でタンク内に残っていた燃料が吹き出す場合があります。

注 燃料タンクキャップは、確実に取付けてください。

給油後に、キャップから燃料が漏れないことを確認してください。



●ブロワとして使用する場合

噴管の選択方法

〈直噴管〉

最大風量での作業が可能です。

広範囲を作業する場合に適しており、さらにエンジン回転も低く抑えられるため、円すい噴管 / 扇形噴筒に比べ燃費が良くなります。

通常は直噴管での使用を推奨します。

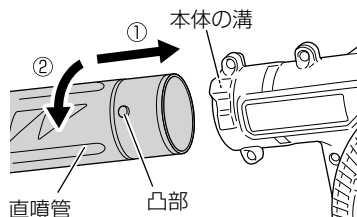
〈円すい噴管 / 扇形噴筒〉

最大風速での作業が可能です。

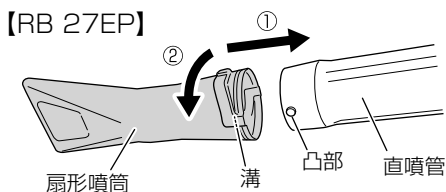
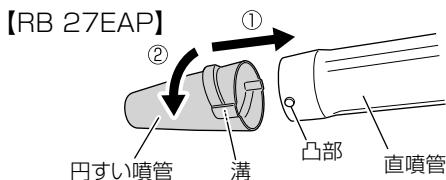
ぬれて地面に貼りついている落ち葉等、狭い範囲を強く吹き飛ばす場合などに適しています。

取付け方

- 1 直噴管を本体に取付けます。
本体側の溝に直噴管の凸部を合わせ、直噴管をさし込み(①)矢印(②)の方向に止まるまで回して固定します。



- 2 次に同じ方法で円すい噴管【RB 27EAP】、あるいは扇形噴筒【RB 27EP】を直噴管に接続します。



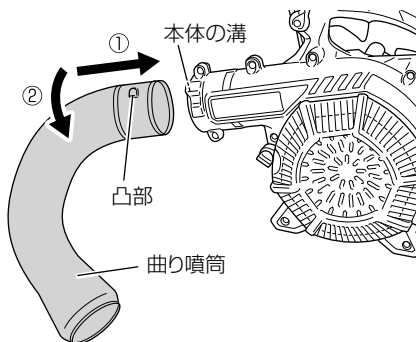
●バキュームとして使用する場合【RB 27EPのみ】

⚠警告

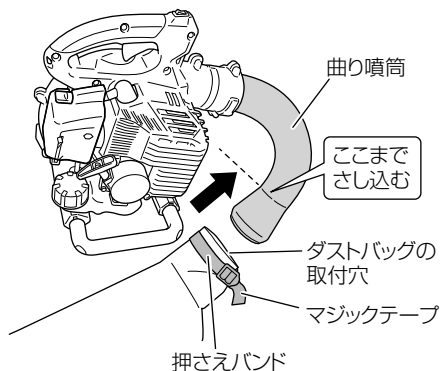
ダストバッグは、必ず曲り噴筒に取付けてください。

本体に直接取付けると、ダストバッグがマフラー排気口に接触し、火災ややけどの原因になります。

- 1 本体側の溝に曲り噴筒の凸部を合わせ、曲り噴筒をさし込み (①) 矢印 (②) の方向へ止まるまで回して固定します。



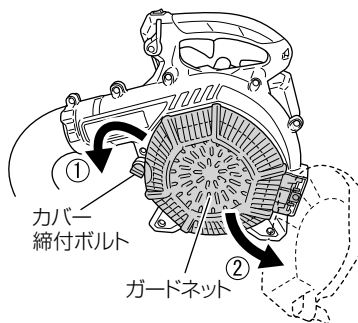
- 2 ダストバッグの取付穴を曲り噴筒の細くなった部分までさし込み、押さえバンドで確実に固定します。固定したらバンドを張った状態で、端にあるマジックテープで固定します。



⚠ 警告

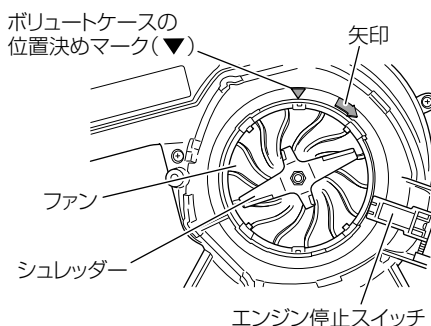
ガードネットはエンジンを停止してから開けてください。

エンジンが起動している状態でガードネットを開けるとエンジンが停止する構造になっていますが、万一、誤作動した場合大変危険です。



- 3** カバー締付ボルトをゆるめ、ガードネットを開きます。

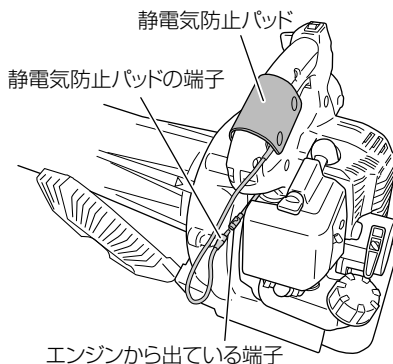
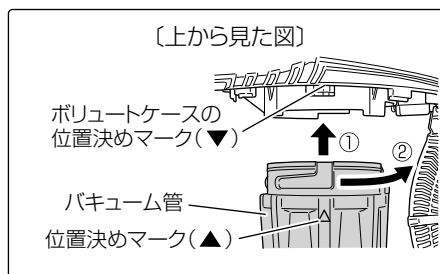
- 4** バキューム管にある位置決めマーク(▲印)とポリウレタンケースの位置決めマーク(▼印)を合わせ、バキューム管をポリウレタンケースにさし込みます。
次にバキューム管を矢印方向に止まるまで回して固定します。



⚠ 注意

バキューム作業中に静電気が発生する可能性がありますので作業前に静電気防止パッドをハンドルに取付け、パッドを握り作業してください。

- 5** エンジンから出ている端子と静電気防止パッドの端子を接続します。
次にパッドを右図の様にハンドルに取付けます。

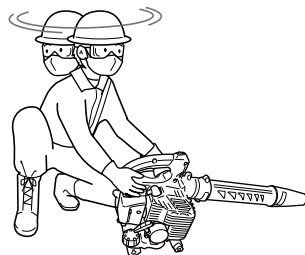


エンジンの始動 / 停止

⚠ 警告

エンジンを始動する場合は次のことに注意してください。

- 機体を平らな場所においてください。
- 15 m 以内に人や動物を近づけないでください。
- スロットルとクルーズレバー【RB 27EPのみ】が、アイドルの位置にあることを確認してください。
- 周囲に落葉、かれ草、おがくず、燃料などの可燃物のある場所で行わないでください。
- 燃料を補給した場所から 3 m 以上はなれた場所で行ってください。



不用意な始動は、けがや火災の原因になります。

- 噴管やバキューム管の先端が、吹き飛ばしたり吸い込んでしまう物に向いていないことを確認してください。
- 室内・トンネル内・ビニールハウス内など、換気の悪い場所ではエンジンを始動しないでください。
- 人体に有害な一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
- 運転中および停止直後は、エンジン本体やマフラー周辺部に触れないでください。
- 運転中は点火プラグやプラグコードに手を触れないでください。

感電によるショックを受けることがあります。

エンジン始動の予備知識

エンジンがかかりにくいときは…

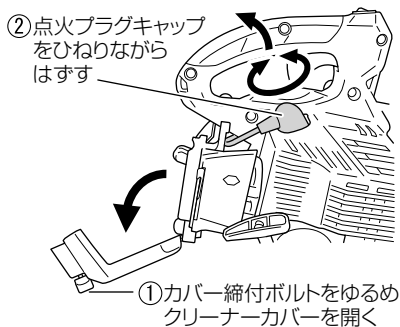
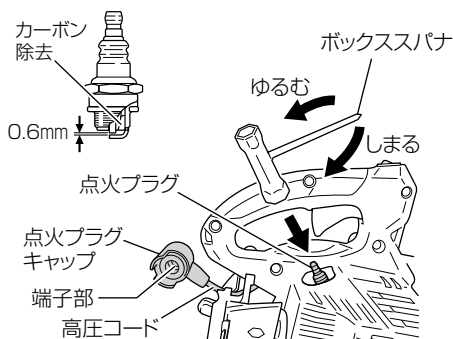
チョークレバーを始動の位置のまま、スターターハンドルを何度も引き続けると、点火プラグの電極が燃料をかぶってエンジンが始動しなくなることがあります。

このような場合は、点火プラグを取りはずして、電極を乾かしてから、始動操作を行ってください。

スパークプラグをはずすときは、点火プラグキャップを右下図のようにひねってください。

(詳細はP.27「保守・点検・整備」の「点火プラグ」参照)

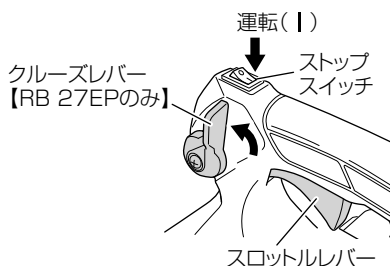
注 エンジンが高温のときは、充分に冷めてから点火プラグをはずしてください。



● 始動方法

1

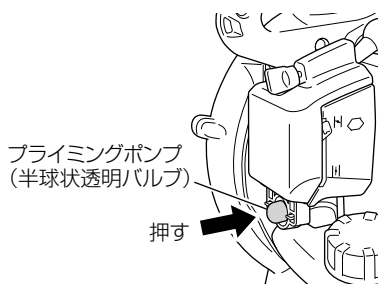
スロットルレバーとクルーズレバー【RB 27EPのみ】がアイドルの位置にあることを確認して、ストップスイッチを運転の位置にする



2

プライミングポンプを繰り返し押す

プライミングポンプが燃料で満たされるまで、プライミングポンプを繰り返し押してください。(目安 10 回)



エンジンが冷えている場合

- 初めて使うとき
- しばらく保管してから、再び使用するとき
- 気温 10℃以下で、一時間以上放置したとき

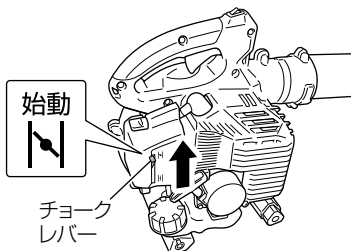
エンジンが暖まっている場合

- 気温 20℃以上で、一時間ほどの小休止後

エンジンが冷えている場合

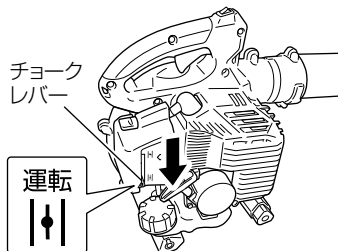
3

チョークレバーを
始動位置にする



エンジンが暖まっている場合

チョークレバーを
運転位置にする

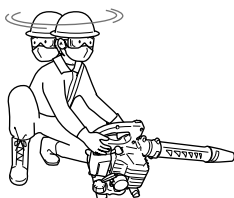


⚠ 警告

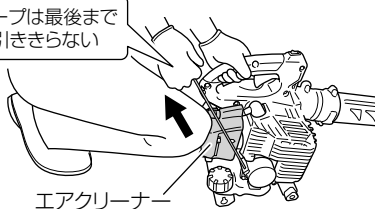
- スロットルレバーを握ったまま、またクルーズレバーを手前に引いたままエンジンを始動しないでください。
急に送風、吸引が始まり、事故の原因になります。
- スターターハンドルを引いてから、遅れてエンジンが始動する場合がありますので注意してください。

4

左手でハンドル部をしっかりと押さえ、エアクリーナを膝で押しつけてからスターターハンドルを数回引く(10回くらい)



ロープは最後まで
引ききらない



注 エンジンがかかると、送風/吸引が始まります。

エンジン始動

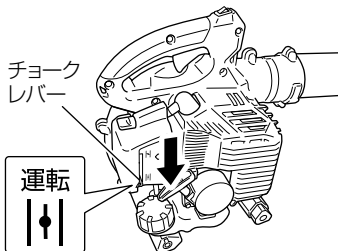
かからない場合は、1～6の操作を行ってください。

エンジンが冷えている場合

5

エンジンがかかりはじめたら・・・ (ポン、ポンという爆発音がします。)

チョークレバーを運転位置にします

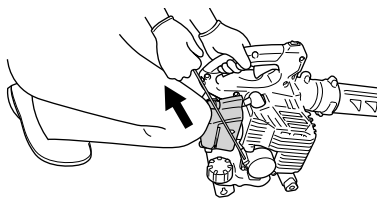


注

エンジンがかからないときは、ストップスイッチが停止側(○)になっていないか確認してください。

6

エンジンが止まったら、再度 スターターハンドルを引く



注

ご購入後、初めてお使いになるときは、エンジン各部のなじみを十分にするため、最初から10時間ぐらいまであまり回転を高くしないで作業し、ならし運転をしてください。

エンジン始動

使用前に、低速回転で2～3分間暖機運転をしてください。(スロットルレバーを離すとアイドル位置に戻り、低速回転になります)

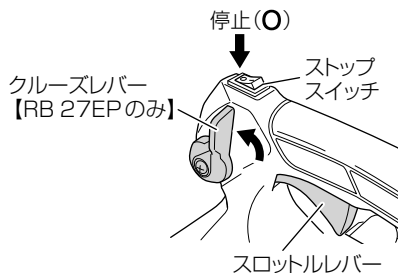
かからない場合は、1～6の操作を行ってください。

●停止方法

⚠警告

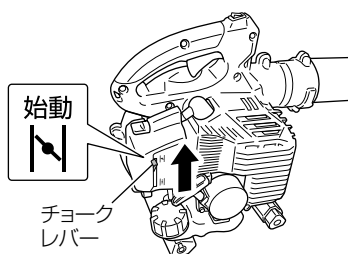
機体からはなれるときは、必ずエンジンを停止してください。

エンジンを停止するときは、スロットルレバーを放し (RB 27EP の場合はクルーズレバーも矢印方向に戻し)、低速回転になってからストップスイッチを停止 (○) の位置にします。



注 ストップスイッチを停止側 (○) にしてもエンジンが停止しないときは、チョークレバーを「始動」の位置にしてください。エンジンは失速し、停止します。

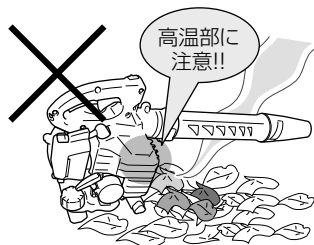
ストップスイッチでエンジンが停止しなかった場合は、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



作業する

⚠ 警告

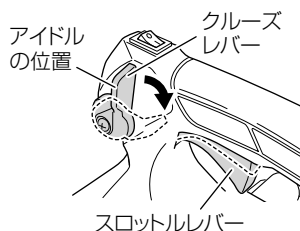
- 夜間や天候不良などの視界が悪いときは使用しないでください。
- 雨中や雨上がりのぬれた場所では使用しないでください。
- 常に足元をしっかりとさせ、スリップなどで身体のバランスを失わないように十分注意して使用してください。
- 急傾斜地では使わないでください。
- バキューム作業をするとき【RB 27EPのみ】はダストバックのストラップを肩に掛け、両手でハンドルをしっかりと持ち作業してください。
- ブロワ作業を行うときは、送風方向に人や窓ガラスなど壊れやすい物がないように考慮してください。
- 狭い場所などで作業したり、風上に向かって送風すると、吹き飛ばした物が自分に跳ね返ることがありますので注意してください。
- 他の人を 15 m 以内に近づけないでください。また、二人以上で作業する場合も、15 m 以上はなれてください。
- エンジンをかけたまま本機を放置しないでください。
- 運転中および作業直後は、落ち葉やかれ草、おがくず、燃料など、燃えやすい物の近くに置かないでください。
- 作業中はもとより、エンジン停止後もしばらくエンジン本体、特にマフラー、排気口、シリンダー部などに触れないでください。
やけどやけがの原因になります。
- 排気ガスは人体に有害です。換気の悪い場所でエンジンを始動しないでください。また、作業しないでください。



クルーズレバーについて【RB 27EPのみ】

- クルーズレバーは、スロットルレバーを握らずにエンジン回転数を調節できる装置です。
- クルーズレバーを手前に引くと回転数が上がり、スロットルレバーを握らなくても作業できます。
- エンジン进行切るときは、必ずクルーズレバーをアイドルの位置に戻してください。

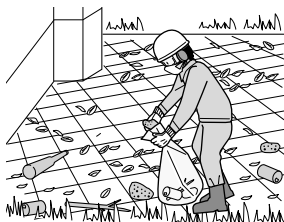
次に、エンジンをかけたとき、急に送風 / 吸引が始まり事故やけがの原因になります。



1 作業場所を整備する

吹き飛んでけがや事故の原因になりそうな物、吸込んで故障の原因になりそうな物は、あらかじめ取り除いてください。

(P.12「作業場所の整備」参照)



2 エンジンを始動する

- スロットルレバーとクルーズレバー【RB 27EPのみ】が、アイドルの位置にあることを確認してください。
- 噴管やバキューム管の先端が吹き飛ばしたり、吸い込んでしまう物に向いていないことを確認してください。(P.17「エンジンの始動 / 停止」参照)



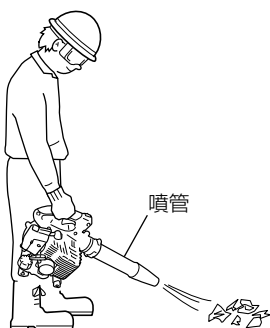
●ブロウ機能を使う

⚠注意

左手でハンドルを握り作業する場合は、エンジンからの熱風に注意してください。

やけどをする恐れがあります。

- ブロウとして使用する場合は片手で操作します。
右左のいずれかでハンドルを握り、スロットルレバーで回転数を調整しながら作業します。
- あらかじめ、落ち葉やゴミを集める場所を決めて、風上から作業するように計画してください。
- 噴管を地面に近づけ、スロットルレバーの引きかげんで風量を調整しながら落ち葉等を掃除します。



●バキューム機能を使う 【RB 27EPのみ】

⚠注意

砂利や小石、空き缶、ビニール紐、小枝等を吸い込まないように注意してください。万が一吸い込んだ場合は、だだちにエンジンを停止し、取り除いてください。

破損、故障の原因になります。

- バキュームとして使用する場合は両手で操作します。
左手でハンドルを右手でサポートハンドルを握り、ダストバッグのストラップを肩に掛けて作業します。
- バキューム管を地面に近づけ、スロットルレバーの引きかげんで吸い込み力を調整しながら落ち葉等を吸い込みます。
- 吸い込んだ落ち葉等は、シュレッター機能で粉碎してダストバッグに送られます。



保守・点検・整備

⚠ 警告

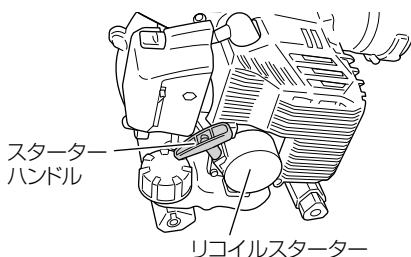
- 保守・点検・整備の際は、必ずエンジンを止めて機体が冷えた状態で行ってください。また、点火プラグキャップをはずしてください。
- 保守・点検・整備後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。
- 不具合箇所が発見されましたら、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

●リコイルスターター

⚠ 警告

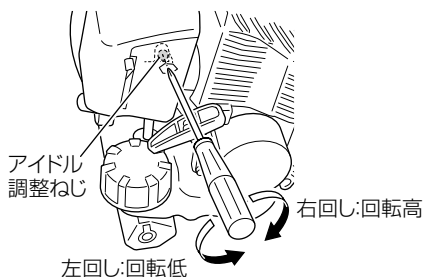
危険ですので、リコイルスターターを分解しないでください。

スターターハンドルが軽く引けない場合や、スターターハンドルを引いてもエンジンが始動しない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



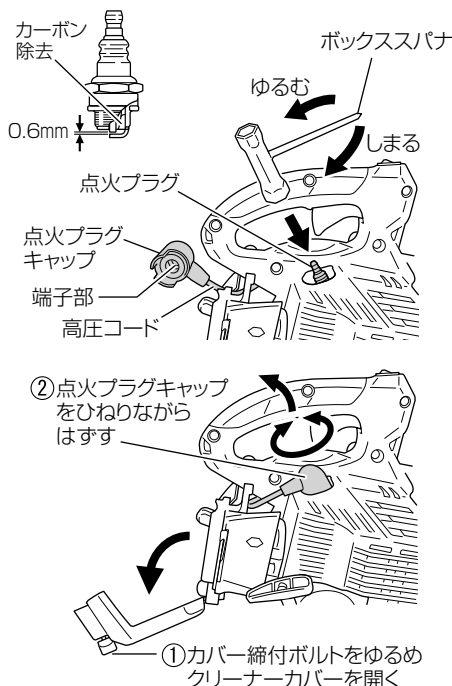
●気化器

- 気化器の調整は、工場出荷時に済んでおりますので、なるべくさわらないでください。
- アイドル調整の回転数が高すぎるときまたは低すぎるとき（エンジンが停止するとき）は、アイドル調整ねじで調整してください。
（右回しでアイドル調整の回転数が高くなり、左回しで低くなります）



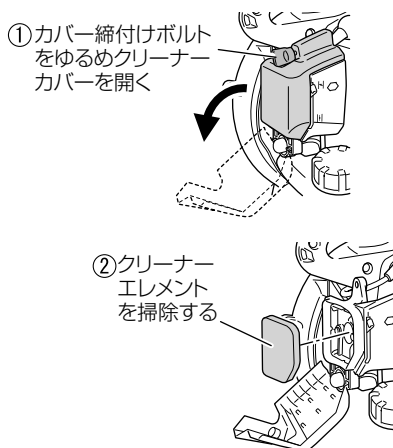
● 点火プラグ

- 点火プラグは指定のものを使用してください。(P.10「仕様」参照)
- 最良の運転状態では点火プラグの電極が茶褐色に乾燥しています。電極のすき間は 0.6 mm です。
- カーボンが付着している場合は、ワイヤブラシなどで掃除してから使用してください。
- プラグ取付け時は、まず指でねじこみ、最後に付属のボックススパナで締付け、しっかり取付けてください。
- スパークプラグをはずすときは、点火プラグキャップを右下図のようにひねってください。



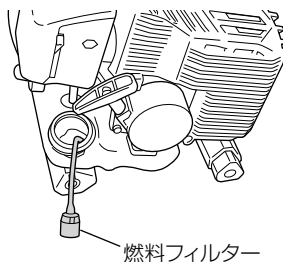
● エアクリーナー

- クリーナーエレメントが汚れ、目づまり状態になると出力低下や始動困難になります。クリーナーエレメントは時々掃除し、汚れを落として目づまりを防いでください。
- クリーナーエレメントを掃除するときは、中性洗剤で油分等を取り除いた上で洗剤を洗い流し、乾燥させてから取付けてください。
- クリーナーエレメントは、カバー締付ボルトをゆるめ、クリーナーカバーをはずすと取り出せます。



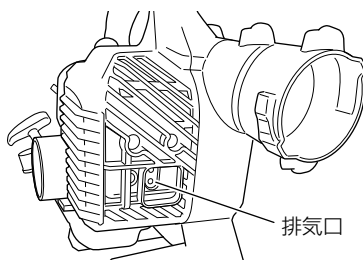
●燃料フィルター

- 燃料フィルターがつまるとガソリンが吸い込まれずエンジンの回転不調の原因となりますので、時々点検してください。
- 汚れているときは、針金などで燃料給油口から引き出し、ごみを取り除いてから燃料給油口に戻してください。(汚れのひどいときは交換してください)



●マフラー

長時間運転しますと、マフラーの排気口の内部にカーボンが付着し、出力低下の原因になります。時々、針金などで掃除してください。



保管方法

- 各部を十分に清掃し金属部にはさびないように2サイクル専用オイルを薄く塗ってください。
- 長期間（1 か月以上）保管するときは、燃料タンクから燃料を抜き取ってから自然に停止するまで空運転し、気化器の中の燃料を完全になくしてください。
- 点火プラグをはずし、プラグの穴から少量の2サイクル専用オイルをシリンダーに流し込み、スターターハンドルを数回引きオイルが行き渡るようにしてください。点火プラグをもと通りに取付けてください。
作業時に、油滴等が飛び散ることがありますので、保護メガネ等で目を保護してから作業してください。
- スターターハンドルを引っ張って圧縮のあるところ（重くなったところ）で止めてください。
- 損傷箇所がある場合は必ず修理してから保管してください。
- ほこり、湿気のない乾燥した、また温度が 50℃ 以上にならない場所に保管してください。
- 子供の手の届かない安全な場所に保管してください。
- 燃料は屋内の火気の心配のない、冷たい乾いたところに、ガソリン専用の容器にいれて保管してください。古くなった燃料は故障の原因となりますので使用しないでください。

故障診断

⚠ 警告

- 修理に使用する部品は必ず指定の純正部品を使ってください。
- 点検の際は、必ずエンジンを止めて機体が冷えた状態で行ってください。

注 「故障診断」で対応できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

状 況		原 因	対 策
エンジンがかからない	【燃料関係】	燃料タンクに燃料がない、または少ない	正しい混合比（25 ～ 50：1）の燃料を入れる
		燃料タンクに古い燃料が残っている（異臭）	新しい燃料に交換する
		燃料を吸い込みすぎて、点火プラグがぬれている	1. 点火プラグをはずし、乾かす 2. スターターハンドルを5～6回引いて余った燃料を出す 3. 点火プラグを装着する 「点火プラグ」参照 4. チョークレバーを運転位置にし、スターターハンドルを引く

状 況		原 因	対 策
エンジンが かからない	【燃料関係】	燃料フィルタにごみがつまっている	燃料フィルタを清掃する
		燃料パイプが折れ曲がっている または、はずれている	燃料が流れるようにする
		気化器の不調	販売店に相談する
	【電気系統】	ストップスイッチが停止位置になっている	運転位置にする
		ストップスイッチのリード線がショートしている	販売店に相談する
		点火プラグが汚損している	交換または掃除する
		点火プラグのギャップが広い	0.6 mm に修理する
		高圧コードと点火プラグの接続が悪い	接続を直す
		電気系の異常	販売店に相談する
	【その他】	マフラーの排気口にカーボンがつまっている	販売店に修理を依頼する
エンジンは スタートする がすぐ停止する 停止しそうになる	【燃料関係】	燃料タンクに燃料がない、または少ない	正しい混合比 (25 ～ 50 : 1) の燃料を入れる
		燃料タンクに古い燃料が残っている (異臭)	新しい燃料に交換する
		2 サイクル専用オイルが混合されていない	販売店に相談する
		チョークレバーが始動位置になっている	チョークレバーを運転の位置にする
		燃料系統に空気が混入する	燃料パイプや継手の接続を直す
		気化器の不調	販売店に相談する
	【電気系統】	点火ミス ● 点火プラグの不良 ● 電気系の異常	新品と交換する 販売店に相談する
		エンジンのオーバーヒート ● 点火プラグの番手違い ● シリンダーまわりのごみづまり	指定品に交換する「仕様」参照 掃除する
	【その他】	エアクリナーの汚れ	掃除する
		カーボンづまり (マフラー排気口)	掃除する
		圧縮不足 (ピストン、ピストンリング、シリンダー)	販売店に相談する
異常振動が出る	各部締め付け部のゆるみ		チェックして増し締める
	点火プラグの劣化、損傷		新品と交換する
エンジンが停止しない	ストップスイッチの異常		● チョークレバーを始動位置にして、エンジンを停止する ● 直ちに使用を中止して、販売店に相談する
スロットルを戻すと エンストする	アイドル回転数が低すぎる		● アイドリング回転数を調整する 「気化器」参照 ● 販売店に相談する

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 **0120-20-8822**

※携帯電話からはご利用になれません。

携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。

お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 786-5122	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 6738-0872	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>

部品コード E99703702 901 NA